

# 兵庫県立美術館屋上の巨大カエル・オブジェ

## 愛称決定

# 「<sup>み</sup>美かえる」



### 愛称決定理由等

兵庫県立美術館の新たなシンボルとして設置しましたカエル・オブジェを多くの方に親しんでいただけるよう愛称を公募したところ、700件を超える応募がありました。その中から、下記の理由で「<sup>み</sup>美かえる」という愛称を選定しました。

「かえる」ということばが「復活」をイメージしやすく、阪神・淡路大震災からの文化復興のシンボルとしての当館の設立趣旨にマッチする。

ご来館いただいた方が美術館を出るとき、カエルのオブジェと美術館を「見かえる」こと、そして再び美術館を「見にかえる」ことを願って。

愛称を応募いただいた方のコメント（美術館で得た美的センスを各自の家庭や職場に持ちかえることを願ってやまない）が、美術を通して「こころの豊かさの復興」や「子どもたちの感性の涵養」を目指す当館の事業方針にマッチする。

なお、「美術館」と「カエル」を組み合わせた「ミカエル」という読みの愛称を多数ご応募いただきましたが、その中で、美術館をイメージしやすい漢字の「美」と、優しさや温かみ、親しみやすさを感じさせる平仮名の「かえる」という表記でご応募いただいた「<sup>み</sup>美かえる」に決定しました。

皆様、これからも「<sup>み</sup>美かえる」をどうぞよろしくお願い致します。